



## 2022年 スタートです！

校長 田淵 恵子

2022年が幕を開けました。保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、清々しい気持ちで新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。本年が皆様にとって、健康で、素晴らしい年となりますよう心よりお祈りいたします。



今年の干支は、十二支の「寅」、十干の「壬（みずのえ）」で、60年に一度巡ってくる「壬寅（みずのえとら）」にあたります。壬寅は、「厳しい冬を乗り越えて、芽吹きを始め、新しい成長の礎となる年」と言われています。コロナ禍で先の見通しがもてない状況ですが、子どもたちには力強く、そして大きく飛躍するためのしっかりとした土台づくりに取り組んで欲しいと願います。今年度も残り3か月、まとめの時期となります。学校ではあらゆる教育活動の中で、課題に対して柔軟に向き合い、自分にできることを考え、他者と協働しながら解決していくことのできる「生きる力」を育てていけるよう、全教職員で力を尽くしてまいります。

さて、先月11日(土)の土曜参観では、感染防止のために時間や人数を制限しての参観でしたが、保護者の皆様のご理解とご協力により、無事に実施することができました。本当にありがとうございました。また、PTA 会長 吉田様を始め、役員の皆様には早朝より受付のご協力をいただき、改めて感謝申し上げます。

子どもたちは、今年度初めての参観日ということもあり多少緊張をしていたようでしたが、張り切って学習に取り組んでいました。お子様の学校での様子は、いかがでしたでしょうか。昨年度から、中止や延期を余儀なくされていた授業参観です。保護者の皆様にとっては教室でのお子様の様子を、直接ご覧いただける機会になったかと思えます。学校としましては、お子様の学習の様子や一人一台端末の活用状況とともに、「持続可能な学校のあり方を探る公募型モデル校」として研究に取り組んでいる午前中5時間、40分授業の様子をご覧いただけたことは、たいへん意義深いことだと感じております。現在、子どもたちは、午前中5時間の授業に慣れ、集中して学習に取り組むことができます。また、午後の30分授業のスキルタイムや60分授業のロングタイムでは、柔軟に時間を活用しながら活動を充実させるなど、生き生きと学習を展開しています。モデル校としての研究はまだ途中ではありますが、持続可能な学校を目指して日々工夫改善を図り、子どもたちにとって質の高い教育を提供できるよう、さらに研究を進めてまいります。

最後になりましたが、年末より、新型コロナウイルス感染症の新たな変異株が急速に拡大しています。学校では、継続して教育委員会のガイドラインに沿いながら、子どもたちの安心・安全の確保と学びの保障を両立させることを基本として、情勢を見極めながら対応を図ってまいります。

保護者・地域の皆様には、引き続き、ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。